



城南っ子のあいさつ力 パワー全開！

鯉のぼりが気持ちよさそうに、5月の空を泳いでいます。連休を越えて、園児たちは、一段と園生活を満喫する姿が見られるようになりました。

それにしても、園児のあいさつのすばらしいこと。お客様のお相手をしていても、私を見つけるやいなや、「園長先生、おはようございます！」とすばらしい挨拶をしにきてくれます。その姿を見て、お客様も感心されています。年少児もすでにこの姿です。ただ、お昼にあっても「おはようございます。」なので(笑)、そろそろ応用編へと入っていきます。

園内を歩いていると、誰も見ていなくても、トイレのスリッパをそろえている姿が見られます。これは、年少児から教えられているから身につく力です。



読書はこころの栄養

読書室や教室に多くの本を設定し、読書力を育てています。学力との相関関係が強い読書量です。お家でもぜひ読み聞かせしてあげてください。



誰と比べていますか？

さて、我が家には三人の孫がいます。二番目は早産のために小さく生まれ、その後もずいぶん心配をしてきました。その孫も現在3歳になり、とても元気に保育所へ通っています。3月25日生まれですので、同じクラスの中でも、何事も後からついていく存在です。でも、すすくと育ってくれています。

この連休中に、娘からこんな話を聞かされました。「早産したので、どこかでいつも自分を責めていたし、同じクラスの子と比べては心配で、いつもびくびくしていたら、あるとき、お父さんが、『他の子と比べるのではなく、自分の子をしっかり見てあげや、昨日のわが子と比べたら、この子なりに成長しているのがわかる。』って。その一言で、気持ちが救われたよ。」

我が夫ながら、なかなかいいことをいうなあとちょっと見直し？ました。

子育ては、誰もが「初めて」なので、不安や心配ごとがいっぱいです。そんなとき、いいタイミングに出会った言葉で救われたりするものです。

子育てに限らず、人として幸せに生きていく上でもとても大事なことだと思います。つい私たち大人は、他の人と比べたり、誰かのせいにしたりがちですが、

子どもの変容を見逃さずに、「すごいね。」と認めると、次への意欲につながります。大人が、どれだけ本気で、「すごい！」「お母さんもうれしい！」と思い、その気持ちを伝えられるかです。できていたら、もうすでに子育ての「上級編」に入っています。